

日刊工業新聞十大新製品賞受賞
川崎重工のごみ焼却・バイオガス化複合施設
完成イメージ図(山口県防府市)

ごみを、資源に。 汚泥を、エネルギーに。

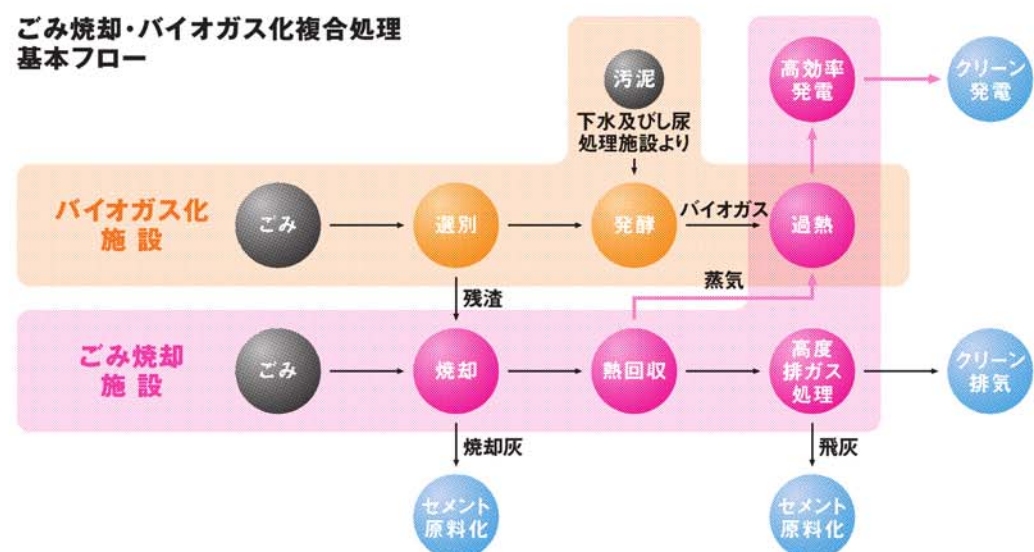
川崎重工グループは、ごみ選別施設・バイオガス化施設・
ごみ焼却施設を組み合わせ、
高効率の廃棄物発電を実現する、国内初^{*}の複合施設を受注。
下水・し尿汚泥の有効活用も可能にします。

*一般廃棄物(可燃ごみ)を対象としたごみ焼却とバイオガス化の複合施設が国内初の受注となります。
(2011年1月 自社調べ)



川崎重工業株式会社 www.khi.co.jp

ごみ焼却・バイオガス化複合処理
基本フロー



川崎重工グループは「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」という理念のもと広範な領域における先端技術を開発、持続可能な未来社会の実現に向けて、新たな価値を創造しています。その一例が、ごみ焼却・バイオガス化複合施設。選別したごみをバイオガス化して発電、選別されないごみは低空気比高温燃焼により、エネルギーを回収します。下水・し尿汚泥も、バイオガス化施設で有効活用。さらに、ごみ焼却後に残る灰までもセメント原料として利用します。こうした高度なごみ処理技術の複合化により、最大発電量3,600kw、基準ごみ時の発電効率23.5%という優れた環境・省エネルギー性能を発揮。川崎重工グループは、これからも資源の有効活用や温室効果ガスの排出量削減などに寄与する技術や製品の開発・提供を通して、より豊かな循環型社会の構築を目指します。

Kawasaki